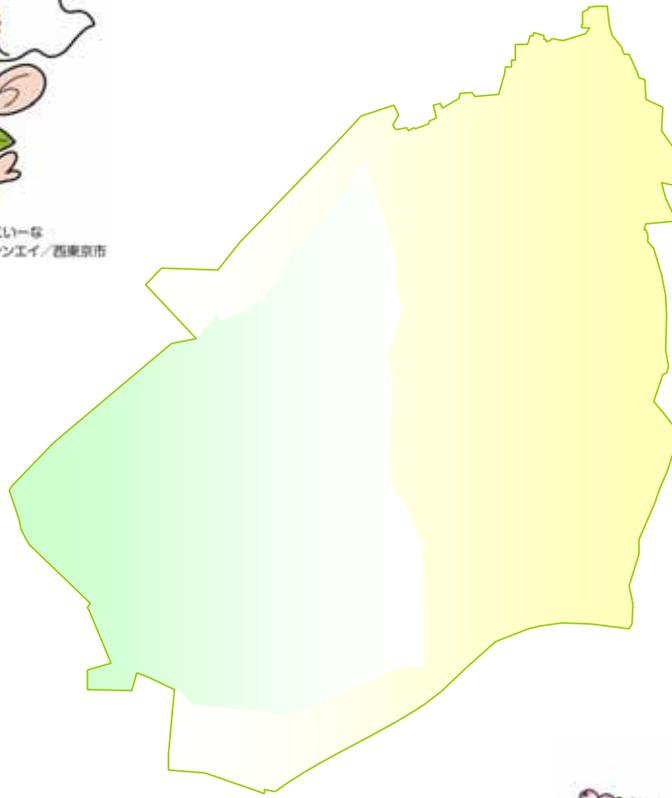


西東京市合併 10 年のあゆみ



平成 24 年 3 月
西東京市

《目次》

1	西東京市の概況	1
	位置	
	行政面積	
	人口規模	
2	西東京市 10 年のあゆみ	2
3	市町村合併の変遷	4
	全国の市町村数の推移	
	多摩地域の市町村数の推移	
4	合併までの経過	5
	歴史的経過	
	田無市・保谷市合併推進協議会（任意協議会）	
	田無市・保谷市合併協議会（法定協議会）	
	西東京市の誕生	
5	合併による財政支援	6
	国・都支出金、交付金	
	地方交付税	
	合併特例債	
6	合併による財政効果	8
	人件費等	
	事務経費	
	消防事務事業	
7	新市建設計画の総括	11
	概要	
	実施状況	
	重点施策の取組成果	
8	新市建設計画事業の実施状況	12
9	合併による市民意識の変化	16
10	今後の課題	19
	10 年の検証とこれからのまちづくり	
	持続可能で自立的な行財政運営の確立を目指して	

西東京市マスコットキャラクター「いこいーな」

西東京市マスコットキャラクター「いこいーな」は、西東京市誕生 10 周年記念事業のシンボル事業として、幅広い世代に親しまれるキャラクターという媒体を通して、西東京市の存在やイメージを広く内外にアピールするとともに地域振興に活用していくために制作しました。

キャラクターの作成に当っては、企業連携の一環として市内にあるアニメ制作会社「シンエイ動画株式会社」に候補作品 3 案を制作依頼し、市民の投票結果を反映させながら西東京市誕生 10 周年記念事業推進委員会で選ばれました。

新市建設計画の重点事業「西東京市いこいの森公園」をモチーフにしており、帽子には園内にある珍しい「ハンカチの木」の花を付けています。

名前の「いこいーな」については、市民公募でいただいた 217 点の中から、同委員会で選定したもので、「いこいの森って楽しくていいな」というイメージから名づけられました。



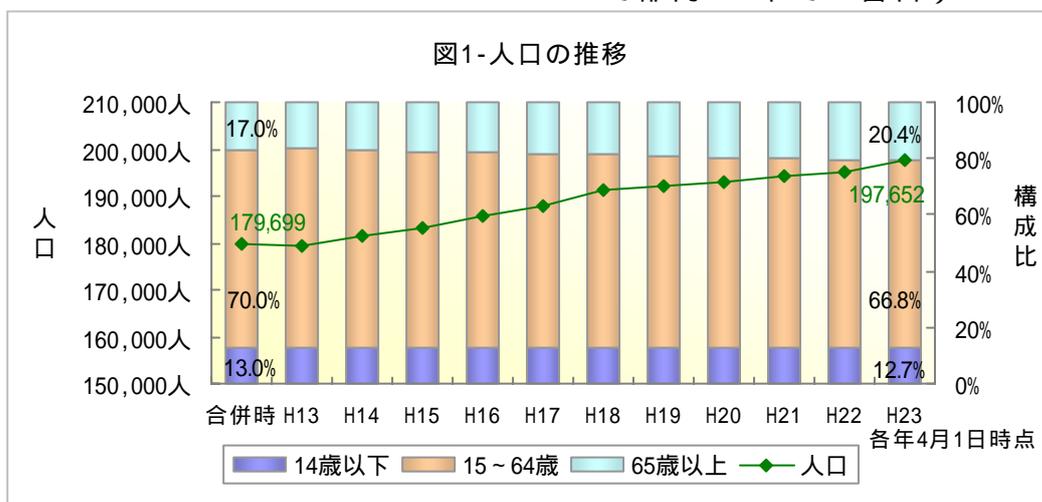
1 西東京市の概況

位置 東西に細長い東京都のほぼ中央北部
北側で埼玉県（新座市）、東側で区部（練馬区）に隣接
東京の副都心（新宿・池袋）まで西武線で 15～20 分

行政面積 15.85 km²（旧田無市 6.80 km²、旧保谷市 9.05 km²）
当時それぞれ全国で 4 番目、10 番目に面積の小さい市



人口規模 197,832 人（平成 24 年 1 月 1 日現在）
合併時の人口 179,699 人（田無市約 7.8 万人、保谷市約 10.2 万人）
増加率：約 10% の増加（大規模事業所の撤退による大規模開発等）
人口密度：12,248 人 / km²（平成 23 年 1 月 1 日時点で武蔵野市に次いで都内 26 市で 2 番目）



《合併協議会想定と実績～人口～》

合併時点での想定と比較すると、特に年少人口（14歳以下）及び生産人口（15歳から64歳）については、大きく減少すると見込んでいましたが、年少人口で3.4%、生産人口で2.1%の増加となっており、全体としては8.6%の増加となっています。その主な要因としては、大規模事業所の撤退による大規模開発等が起因していると考えられ、地域的な人口急増に伴う新たな課題への対応も必要となってきています。

	平成12年	平成17年	平成22年	増減率
当初想定	179,500	181,000	180,600	0.6%
年少人口	23,900	22,600	21,500	10.0%
生産人口	127,700	123,600	119,900	6.1%
高齢人口	27,900	34,800	39,200	40.5%
実績		187,755	194,908	8.6%
年少人口		24,246	24,707	3.4%
生産人口		129,358	130,322	2.1%
高齢人口		34,150	39,877	42.9%

*実績欄は、外国人登録で年齢不明者がいるため総数とは一致していません。

2 西東京市 10年のあゆみ

平成13年度（2001.4.1～2002.3.31）

はなバスの運行開始	下郷町、須玉町（現北杜市）と姉妹都市を提携
誕生1周年記念事業、記念式典の実施	アメリカ同時多発テロ事件発生
市章の制定	欧州単一通貨「ユーロ」の流通開始
非核・平和都市宣言の制定	東京ディズニーシーのオープン
ファミリー・サポート・センターの開設	

一般会計 予算規模	公債費	市債残高	市債	(合併特例債)	普通交付税	財政調整 基金残高	基金残高
591 億円	33 億円	362 億円	64 億円	(49億円)	39 億円	36 億円	109 億円

平成14年度（2002.4.1～2003.3.31）

市民参加条例の制定	行財政改革大綱の策定
東伏見コミュニティセンター、上向台地区会館の開設	住民基本台帳ネットワークの稼働
公共施設予約サービスの運用開始	イラク戦争開戦
武蔵野大学との協定締結	初の日朝首脳会談の開催
地域防災計画の策定	

一般会計 予算規模	公債費	市債残高	市債	(合併特例債)	普通交付税	財政調整 基金残高	基金残高
599 億円	36 億円	401 億円	66 億円	(39億円)	37 億円	45 億円	120 億円

平成15年度（2003.4.1～2004.3.31）

総合計画（基本構想・基本計画）の策定	誕生3周年記念事業の実施
市民憲章・市歌の制定、市の木・市の花の指定	勝浦市と友好都市を提携
子ども家庭支援センター「のどか」の開設	日本郵政公社が営業開始
保谷駅北口駅前広場完成	六本木ヒルズのオープン
けやき小学校新校舎の開校	地上デジタル放送の開始

一般会計 予算規模	公債費	市債残高	市債	(合併特例債)	普通交付税	財政調整 基金残高	基金残高
556 億円	36 億円	440 億円	66 億円	(22億円)	32 億円	47 億円	128 億円

平成16年度（2004.4.1～2005.3.31）

保谷駅南口再開発事業に係る事業計画の決定	新潟県中越地震の発生
市民活動団体との協働基本方針の策定	アテネ五輪開催
はなバスの第5ルートの運行開始	新紙幣発行
ひばりヶ丘駅北口地区まちづくり基本構想の策定	愛知万博「愛・地球博」開幕

一般会計 予算規模	公債費	市債残高	市債	(合併特例債)	普通交付税	財政調整 基金残高	基金残高
602 億円	33 億円	471 億円	55 億円	(20億円)	21 億円	39 億円	114 億円

平成17年度（2005.4.1～2006.3.31）

西東京いこいの森公園の開園	第2次行財政改革大綱の策定
西東京都市計画道路3・4・21号線の整備着手	「ディスカバリー」打ち上げ
市内農産物キャラクター「めぐみちゃん」の決定	JR福知山線脱線事故の発生
井口資仁選手に西東京市初の市民栄誉賞を贈呈	耐震強度偽装問題が発覚

一般会計 予算規模	公債費	市債残高	市債	(合併特例債)	普通交付税	財政調整 基金残高	基金残高
548 億円	40 億円	486 億円	46 億円	(18億円)	20 億円	37 億円	103 億円

平成18年度（2006.4.1～2007.3.31）

南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」の開設
 保谷駅南口地区の再開発ビル建築に着手
 向台町三丁目・新町三丁目地区、ひばりヶ丘駅南口地区の地区計画の決定

指定管理者制度の導入
 北朝鮮が地下核実験の実施
 薬害肝炎訴訟
 第1回東京マラソンの開催

一般会計 予算規模	公債費	市債残高	市債	(合併特例債)	普通交付税	財政調整 基金残高	基金残高
578 億円	44 億円	509 億円	59 億円	(31億円)	23 億円	38 億円	113 億円

平成19年度（2007.4.1～2008.3.31）

下野谷遺跡公園の開園
 青嵐中学校の新校舎の開校
 人にやさしいまちづくり条例の制定
 市民活動団体との協働基本方針の策定

家庭ごみ3事業の実施(個別収集、分別
 収集、有料化)
 郵政民営化がスタート
 新潟中越沖地震の発生

一般会計 予算規模	公債費	市債残高	市債	(合併特例債)	普通交付税	財政調整 基金残高	基金残高
585 億円	48 億円	502 億円	32 億円	(10億円)	21 億円	34 億円	94 億円

平成20年度（2008.4.1～2009.3.31）

総合計画(後期基本計画)の策定
 住吉会館「ルピナス」の開設
 エコプラザ西東京の開設
 保谷駅前公民館・図書館の開設
 市民協働推進センター「ゆめこらぼ」の開設

洞爺湖サミット開催
 北京五輪開催
 リーマン・ブラザーズが経営破綻
 オバマ新アメリカ合衆国大統領就任

一般会計 予算規模	公債費	市債残高	市債	(合併特例債)	普通交付税	財政調整 基金残高	基金残高
611 億円	49 億円	506 億円	46 億円	(21億円)	21 億円	38 億円	96 億円

平成21年度（2009.4.1～2010.3.31）

ひばりヶ丘駅前出張所の開設
 エコアクション21の認証取得
 多文化共生センターの開設
 インターネット議会中継開始

新型インフルエンザが世界的大流行
 行政刷新会議の事業仕分け
 裁判員裁判がスタート

一般会計 予算規模	公債費	市債残高	市債	(合併特例債)	普通交付税	財政調整 基金残高	基金残高
606 億円	53 億円	524 億円	63 億円	(8億円)	23 億円	34 億円	86 億円

平成22年度（2010.4.1～2011.3.31）

障害者総合支援センターの整備
 そよかぜ保育園の整備
 下保谷児童センター、福祉会館の開設
 ひばりが丘児童センターの開設
 芝久保三丁目ふれあい公園の開園

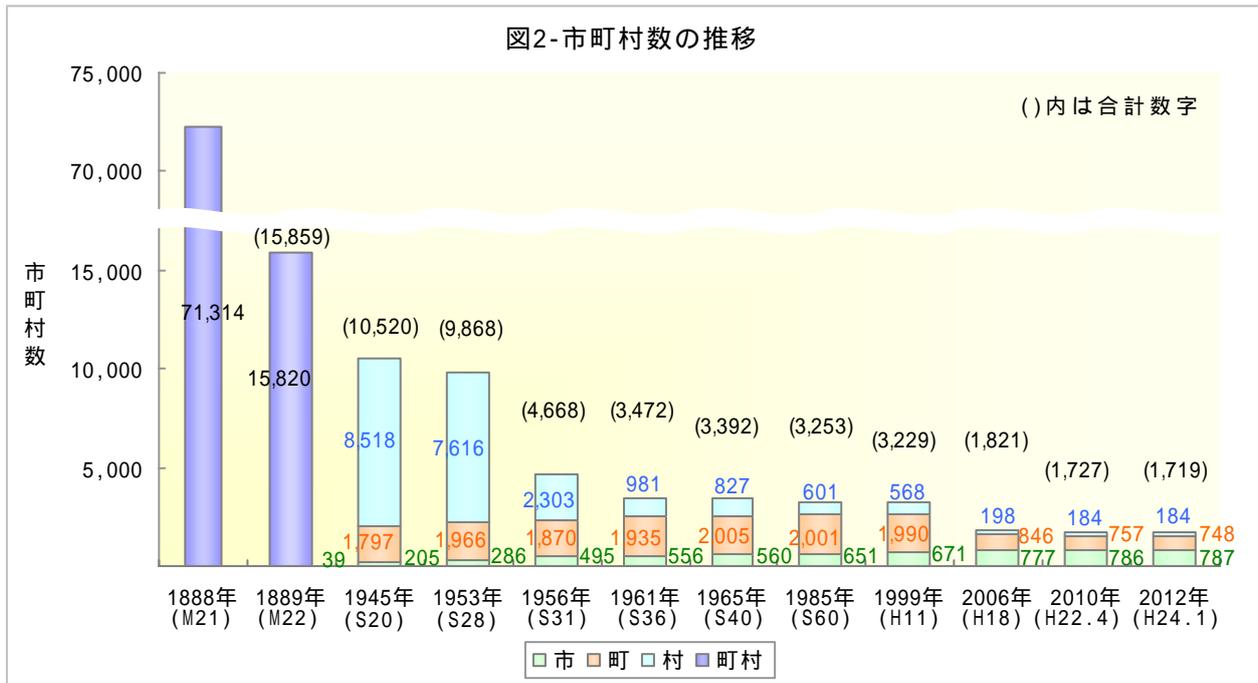
誕生10周年記念事業の実施
 第三次行財政改革大綱の策定
 東日本大震災の発生
 小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還

一般会計 予算規模	公債費	市債残高	市債	(合併特例債)	普通交付税	財政調整 基金残高	基金残高
677 億円	55 億円	564 億円	87 億円	(29億円)	43 億円	42 億円	93 億円

3 市町村合併の変遷

全国の市町村数の推移

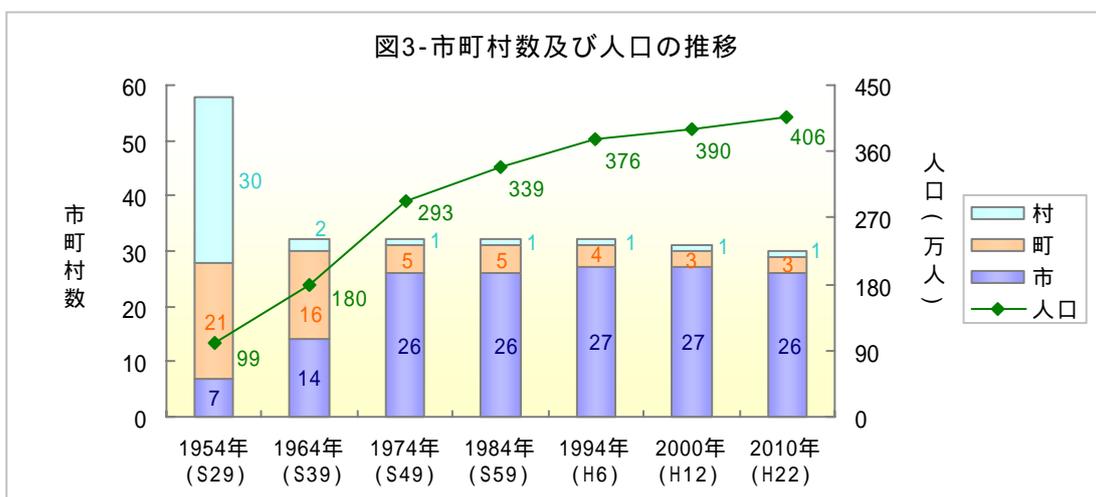
全国の市町村数は、明治 21 年には 7 万を超える町村数でしたが、明治、昭和の大合併を経て、昭和 36 年時点で 3,472 市町村まで減少しました。その後、平成の大合併により、平成 18 年 3 月時点で 1,821 市町村、そして平成 24 年 1 月時点で 1,719 市町村まで減少しました。



多摩地域の市町村数の推移

多摩地域の市町村においては、昭和 29 年時点で 58 市町村でしたが、昭和、平成の大合併を経て大幅に減少し、平成 22 年には 30 市町村となりました。一方、多摩地域の人口については、昭和 30 年以降急激に増加してきましたが、市町村の数は昭和 39 年以降ほぼ変わっていません。

なお、多摩地域における市町村合併は、西東京市の合併前としては、平成 7 年 9 月の秋川市と五日市町の合併により誕生したあきる野市があります。



4 合併までの経過

歴史的経過

田無市と保谷市の合併問題は、古くは明治 23 年からその記録が残り、昭和 28 年の町村合併促進法の制定により幾度となく議論を重ね、昭和 40 年には法定の合併協議会の設置まで気運が高まりましたが、合併には至らず、昭和 42 年にそれぞれ単独で市制を施行しました。

その後、平成に入り両市議会に合併に関する特別委員会が設置されるなど、本格的な議論が開始されました。

田無市・保谷市合併推進協議会（任意協議会）

こうした合併機運の醸成を経て、平成 9 年には合併協議会（任意）設立準備会を設置し協議を重ね、平成 10 年 2 月に合併推進協議会（任意協議会）を、また、同年 7 月にはまちづくりの構想を検討する新市将来構想策定委員会を設置し、翌年 7 月には、「新市将来構想」を策定しました。

そして、より具体的な議論を行なうため、法定の合併協議会への移行の必要性が議論され、任意協議会において正式に確認されました。

田無市・保谷市合併協議会（法定協議会）

これを受け、平成 11 年 9 月に両市議会において法定合併協議会設置が議決され、10 月 11 日に合併協議会（法定協議会）が設置されました。

この法定協議会において、合併協定にかかわる協議事項について協議を進めるとともに、財政シミュレーションや市民意向の確認方法、新市建設計画及び新市名に関する事項等について協議を行いました。

そして、市民説明会や市民意向の調査を経て、法定協議会第 18 回会議においてすべての協議事項及び合併協定書が確認され、平成 12 年 8 月 10 日に合併協定調印式を挙行しました。

西東京市の誕生

両市の臨時議会において合併関連議案の議決を経て、東京都知事に合併申請を行い、東京都議会の議決、東京都知事の処分決定を経て、平成 12 年 11 月 17 日に田無市及び保谷市の配置分合について官報の公示が行われました。その後、合併準備室を設置し、合併協定に基づく新市発足に向けた具体的な準備を進め、平成 13 年 1 月 21 日に西東京市が発足しました。

《市民意向調査》

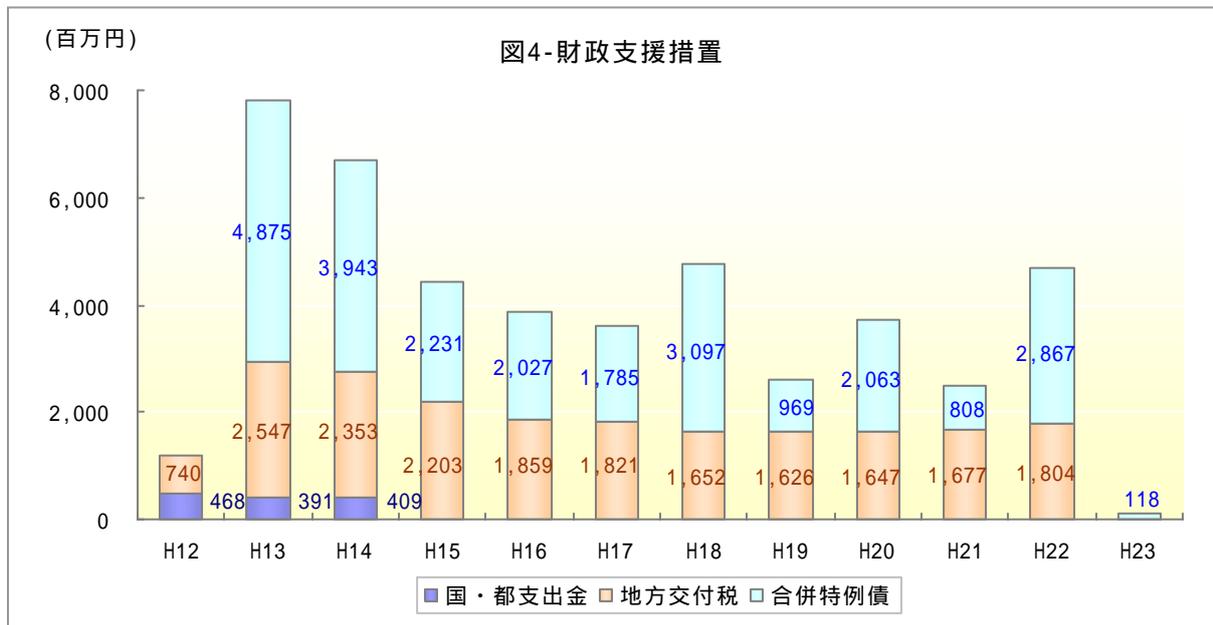
平成 12 年 7 月には、合併の賛否、新市の名称及び期待する施策の方向性についての「田無市・保谷市合併に関する投票方式による市民意向調査」を実施しました。

この投票方式による市民意向調査の最終的な投票率は 44.17% で、合併に「賛成」とする票 (57.76%) が「反対」とする票 (32.92%) を上回りました。

また、新市の名称については公募した候補から、法定協議会において最終的に 5 候補（西東京市、けやき野市、北多摩市、ひばり市、みどり野市）を選定し、この市民意識調査により「西東京市」が最多得票を得ました。

5 合併による財政支援

合併による財政効果として、国・都支出金、地方交付税及び合併特例債等により、10年間で約450億円の財政支援措置がありました。



国・都支出金、交付金

平成12年度から平成14年度までに、国及び東京都から合併に伴う財政支援として、3年間で12億6,800万円の交付を受けました。

その内訳は、国庫支出金として合併準備補助金(1,000万円)、合併市町村補助金(5億1,000万円)及び都支出金として市町村合併支援特別交付金(7億4,800万円)となっています。

地方交付税

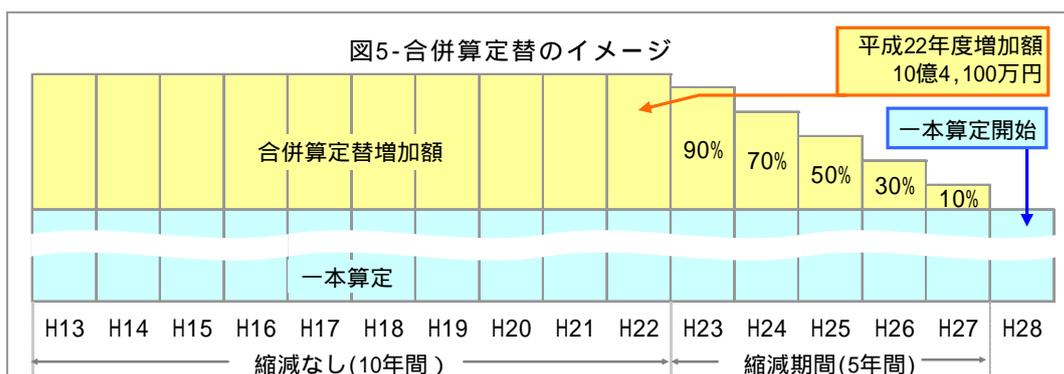
地方交付税全体では、普通交付税額の算定の特例(合併算定替¹)と普通交付税の合併補正、特別交付税における合併関係増加額をあわせ、平成13年度から平成22年度の10年間で約199億2,800万円の増加額がありました。

その内訳は、合併算定替による増加額として、普通交付税で約140億700万円、臨時財政対策債²発行可能額で約30億4,200万円の増加額がありました。また、普通交付税の合併補正として10億700万円が基準財政需要額に算入され、特別交付税における合併関係増加額として、約18億900万円が交付されました。

ただし、この合併算定替は合併後11年目となる平成23年度以降については、5年間でこれまでの増加額が段階的に縮減され、最終的に平成28年度には、本来西東京市として算定される額(一本算定)が交付されることとなります。

¹ 合併算定替：合併市町村は、合併後10ヵ年度は合併がなかったものと仮定して算定した普通交付税の額を保证するもので、合併直後に交付税が激減しないように設けられた特例措置のこと。

² 臨時財政対策債：国が地方交付税の配分に当たり、その財源である国税5税の不足分について地方と折半することを趣旨として、発行可能額が国から示される地方債のこと。



合併特例債

合併特例債とは、合併後10年間は新市建設計画に基づく建設事業に対し、所要額の95%の起債が可能となり、さらにその元利償還金の70%が普通交付税の基準財政需要額に算入される地方債のことで、平成13年度から平成22年度までの10年間（平成23年度への繰越し分を含む。）において、本市の合併特例債起債上限額³320億円のうち、約77.4%となる247億8,300万円の起債を行いました。

新市のまちづくりにおいて合併特例債を活用した建設事業は31事業あり、主な事業としては、西東京いこいの森公園等の公園整備、けやき小学校及び青嵐中学校等の学校施設の整備や保育園及び児童館施設の整備、また都市計画道路の整備などの事業となっています。

【合併特例債を活用した事業】

地域の中で支えあう福祉のまち

北原児童館の建替、ひばりが丘・下保谷児童センターの建替
みどり・田無・西原・すみよし保育園の建替
住吉福祉会館建替等事業、下保谷福祉会館の建替
障害者総合支援センターの建設

環境にやさしく美しいまち

西東京いこいの森公園の整備、公園広場の整備(生産緑地の保全)
エコプラザ西東京の建設

若者を育てるまち

小学校校舎等大規模改造事業、小学校耐震補強事業
けやき小学校建設事業、青嵐中学校校舎等建替
中学校校舎等大規模改造事業、中学校耐震補強事業
保谷駅前公民館・図書館の整備

安全で快適なまち

ひばりが丘駅周辺まちづくりの推進（ひばりが丘駅南口地区、西3・4・21号線の整備）、都市計画道路の整備（西3・4・15号線）
市道の整備（市道2338号線）、田無駅南口景観整備事業
地域防災無線の増設工事、防災行政無線の整備
田無庁舎敷地整備事業、南町スポーツ・文化交流センターの建替

市民が参加する活力あるまち

上向台地区会館の建設

³ 合併特例債起債上限額：合併後の人口規模等により設定した標準全体事業費337億円に対する起債上限額（充当率95%）

6 合併による財政効果

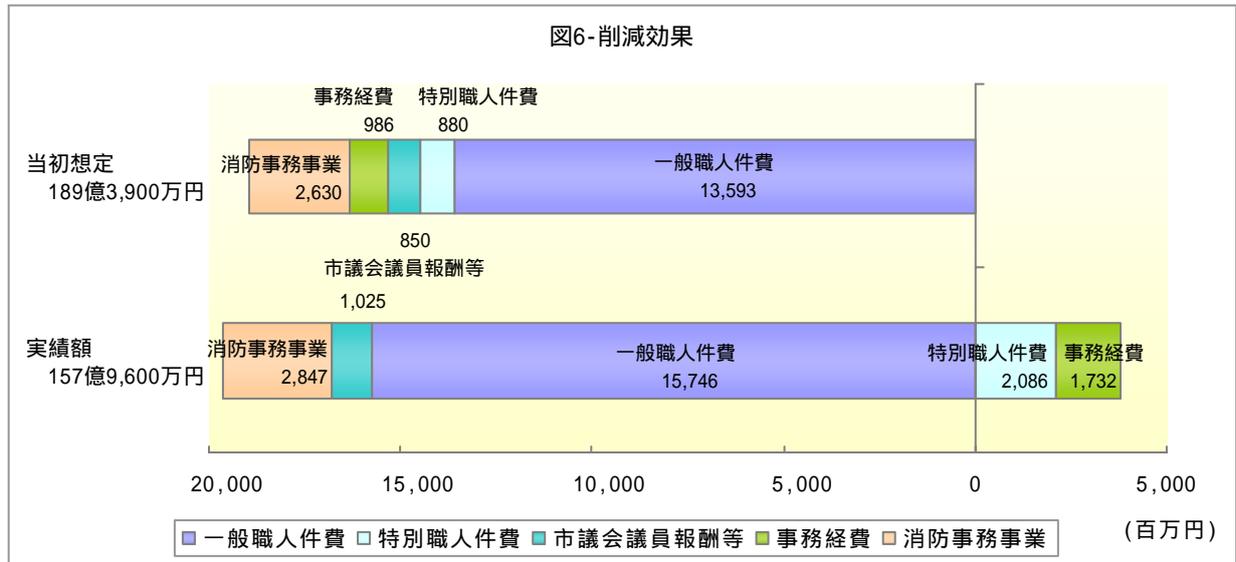
「合併は究極の行財政改革」として取り組んできました。
10年間の取組による財政効果は約158億円です。

削減を試算した項目

人件費等：一般職人件費、特別職人件費及び市議会議員報酬等

事務経費：臨時職員賃金、電子計算管理費、民間業務委託、共通事務費

消防事務事業：消防事務事業の委託経費



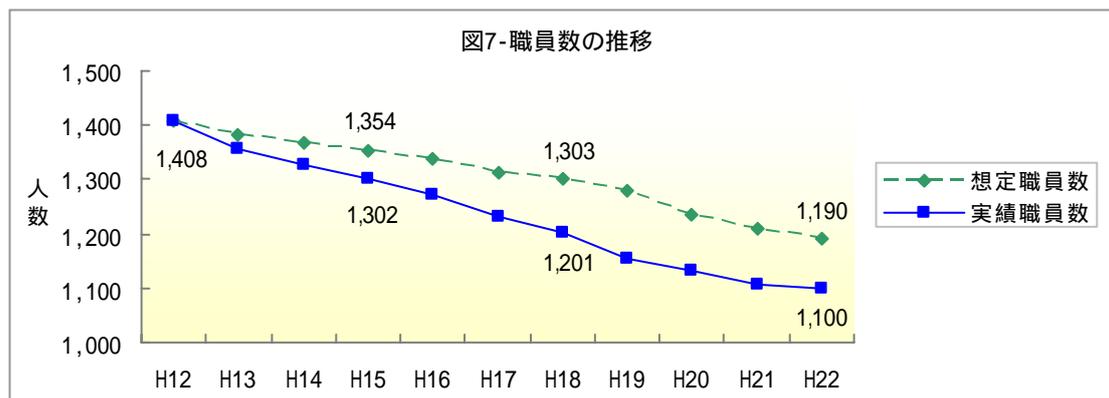
人件費等

職員数や議員定数の削減により10年間で約147億円の削減効果
当初試算（約153億円）と比べ、約6億円の乖離

一般職人件費

一般職人件費については、管理部門の統合や新規採用の抑制、退職者の不補充等による職員数の削減により10年間で、人数で218人、人件費で約135億9,300万円の削減が図れると試算しました。

平成22年度までの10年間に於ける行財政改革大綱の取組により、合併時1,408人だった職員数を、平成23年4月時点で1,100人（308人の削減）、一般職人件費で約157億4,600万円の削減を図りました。



特別職人件費

特別職人件費については、10年間で約20億8,600万円の増加となっており、合併時に想定した削減効果（8億8,000万円の削減）と大きな乖離が生じています。

この主な要因としては、市長等特別職では約3億1,600万円の削減となったものの、新たな行政需要等への対応やサービスの維持拡充を図るため、相談業務等における専門的な知識を有する嘱託員の活用や再雇用嘱託員の活用、業務の嘱託化などを実施したことで、その他特別職報酬で約24億400万円増加したことによるものです。

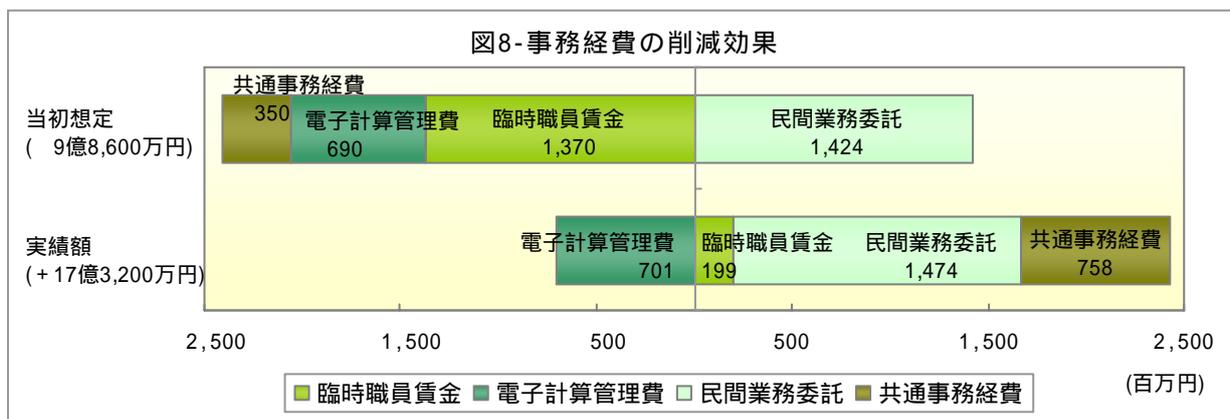
市議会議員報酬等

市議会議員報酬等では、議員定数を合併当時の46人から、10年間で段階的に削減を行い、平成22年度には議員定数を28人（18人の削減）まで削減を図りました。

このことにより、市議会議員報酬等では、合併時に想定した削減効果（約8億5,000万円）を上回る、10年間で約10億2,500万円の削減を図りました。

事務経費

10年間で約17億3,200万円経費が増加
当初試算（9億8,600万円の削減）と比べ、約27億円の乖離
主に臨時職員賃金と共通事務費で想定との乖離が発生



臨時職員賃金

当初10年間で13億7,000万円の削減効果と見込んでいた臨時職員賃金について、実績としては合併時点と比較して約2億円の増加となっており、合併時点の想定と大きく乖離しています。

この要因としては、当初想定では類似都市の臨時職員数程度と想定したことに対して、保育園の時間延長への対応などの新たな行政需要等への対応やサービスの維持拡充を図るため、当初想定を上回る臨時職員を活用したことが挙げられます。

電子計算管理費

電子計算機器の保守管理や機器借上等にかかる経費については、合併時点の想定では類似都市の管理経費程度になるものと試算しており、その試算とほぼ同額の約7億100万円の削減効果となりました。

民間業務委託

民間業務委託については、行財政改革の取組として、ごみ収集業務と小学校給食の民間委託を図った結果、当初試算とほぼ同額の約14億7,400万円の経費増加となりました。これらの民間委託の推進により、職員数を削減し、一般職人件費の削減を図ることとなりました。

共通事務費

旅費、需用費、役務費のうち、経常的な事務費について、類似都市と同程度になると試算し約3億5,000万円の削減効果を見込みましたが、実績としては約7億5,800万円の増加となりました。

消防事務事業

消防事務事業の東京都への委託事業について、合併により新市の基準財政需要（消防費）が経費負担の基礎となることから、当初試算の26億3,000万円とほぼ同額の約28億4,700万円の削減効果がありました。

《合併協議会想定と実績～財政規模～》

合併当初の想定では、平成22年度の財政規模は平成13年度から7.6%減少すると見込んでいましたが、実績額で見ると、歳入額においては10.3%増、歳出額においては11.9%増となりました。

また、各年度の実績を当初想定と比べると、平成13年度は、歳入額は2.1%減、歳出額は5.6%減となりましたが、平成22年度は、歳入額は16.9%増、歳出額は14.3%増となり、財政規模は当初想定より大きくなりました。

(百万円)

	平成13年度	平成22年度	増減率 (対H13年度比)
当初想定			
歳入額	62,862	58,096	7.6%
歳出額	62,862	58,096	7.6%
実績			
歳入額	61,554	67,886	10.3%
歳出額	59,357	66,428	11.9%
増減率(対当初想定比)			
歳入額	2.1%	16.9%	
歳出額	5.6%	14.3%	



7 新市建設計画の総括

概要

新市建設計画に掲げた事業は当初 53 事業、総事業費は約 589 億円、合併特例債の発行可能額は約 320 億円と見込んでおり、平成 16 年 3 月の改訂により新たに 15 事業を追加（3 事業を統合）したことで、65 事業で約 656 億円を見込んでおりました。

新市建設計画の実績としては、計画に掲げた 65 事業の事業費は約 584 億円、合併特例債の発行額は約 248 億円となりました。

	当初	改定(H16.3)	実績
計画フレーム	約589億円	約656億円	約584億円
合併特例債		約320億円	約248億円
主要事業数	53事業	65事業	61事業

完了若しくは着手

実施状況

平成 13 年度からの 10 年間において、新市建設計画に掲げた 65 事業のうち、61 事業について、完了若しくは着手しました。

また、新市建設計画事業で着手できなかった 4 事業についても、他の取組等により事業の目的や成果を果たしたと考えております。

新市建設計画の実施状況	65事業	割合
完了した事業数	26事業	40.0%
着手した事業数	35事業	53.8%
総合計画事業として進行管理	(31事業)	(47.7%)
一般事務事業として進行管理	(4事業)	(6.2%)
その他の理由	4事業	6.2%

着手できなかった 4 事業

自転車駐車場設置事業（ひばりヶ丘駅南口地区）
市道整備基金の創設
公共交通バスロケーションシステムの導入の検討
合併市町村振興基金の設置

重点施策の取組成果

西東京いこいの森公園の整備

東京大学原子核研究所の移転に伴い、約 4.4 ha の跡地に西東京市の誕生を記念したシンボリックな最大規模の市立公園として整備しました。

また、防災倉庫や非常用施設を備えた防災拠点としての機能も有し、市民のボランティアの協力を得て、維持管理を行っています。

（平成 17 年 4 月開園）

はなバスの運行

交通不便地域の解消と公共施設への利便性の向上を図るため導入し、当初は市内 4 ルートの運行を開始し、平成 16 年 9 月からは第 5 ルートを開設して、充実を図っています。

（平成 14 年 3 月運行開始）

地域情報化の推進

公共施設予約システム、図書検索・予約システム、ホームページの充実、各種証明書等自動交付機の設置等の整備を進め、地域情報化を推進してきました。

ひばりヶ丘駅周辺のまちづくりの推進

ひばりヶ丘駅構内、南口にエレベーター、エスカレーターを設置しました。

南口側は、地区計画を定め、都営住宅跡地を取得した共同企業体の開発にあわせて、自転車駐車場やひばりヶ丘駅前出張所を整備しました。

北口側は、関係権利者や関係機関等と連携し、都市計画道路の整備とあわせた協働によるまちづくりを推進しています。

8 新市建設計画事業の実施状況

地域の中で支えあう福祉のまち

		事業費計 (百万円)	合併 特例債	事業年度
		7,993	3,718	
【福祉施策の充実】		5,901	2,969	
1	基幹型在宅介護支援センターの設置	7		14～
2	ファミリー・サポート・センターの設立	82		13～
3	病児保育室の設立	148		13～
4	芝久保児童館・学童クラブの建替	92		13
5	しもほうや保育園、やぎさわ保育園の改修工事	87		13
6	こども総合支援センターの建設	505	253	16～20
7	障害者総合支援センターの建設（（仮称）障害者福祉総合センターの建設）	1,360	521	20～22
8	北原児童館の建替	167	124	16～17
9	ひばりが丘児童センターの建替（ひばりが丘児童館の建替）	848	547	19～22
10	下保谷児童センターの建替（下保谷児童館の建替）	1,054	746	19～22
11	みどり保育園の建替	327	173	16～17
12	田無保育園の建替	295	159	17～18
13	西原保育園の建替	435	282	19～20
14	すみよし保育園の建替	486	164	20～22
15	地域福祉拠点施設の整備	8		16～20
【健康の増進】		1,438	749	
16	健康づくり推進プランの策定	28		13～15
17	予防事業等の拡充	258		14～
18	住吉福祉会館の建替	643	400	16～20
19	下保谷福祉会館の建替	509	349	19～22
【住環境の改善】		655	0	
20	高齢者・障害者向け住宅の確保	8		13～
21	痴呆性高齢者等グループホームの整備	270		13～
22	福祉のまちづくりの推進	377		13～

（表内の数字は、表示単位未満で四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。以下同じ。）



環境にやさしく美しいまち

	事業費計 (百万円)	合併 特例債	事業年度
【公共緑化の推進】	14,206	9,720	
23 公園広場の整備	2,441	2,031	13～
24 西東京いこいの森公園の整備（（仮称）合併記念公園の整備）	10,247	6,371	13～
【民有地緑化の推進】	0	0	
25 グリーンバンクの設立	0		13～
【環境対策の充実】	28	0	
26 環境基本計画の策定	28		13～15
【ごみの減量化・資源化】	1,489	1,318	
27 エコプラザ西東京の建設（リサイクルプラザの建設）	1,489	1,318	13～

若者を育てるまち

	11,011	7,046	
【学校教育の充実】	9,832	6,260	
28 小・中学校の施設整備	1,383	838	13～19
29 青嵐中学校校舎建替	3,803	2,847	13～19
30 けやき小学校建設事業（西原地区小学校統合事業）	3,446	2,575	13～15
31 通級学級の開設	110		13～
32 小学校給食の食器改善	220		13～15
33 中学校給食の導入に向け検討	516		14～
34 教育相談機能の充実	15		13～
35 特色ある教育の実現	339		13～
【社会教育・生涯学習の充実】	1,179	786	
36 郷土資料館の整備について検討	0		
37 青少年センターの整備について検討	51		16～
38 保谷駅前公民館の整備（住吉公民館の整備）	469	324	18～20
39 保谷駅前図書館の整備（下保谷図書館の整備）	659	462	18～20



けやき小学校
(H14年1月開校)



保谷駅前公民館・図書館
(H20年6月開館)



西東京いこいの森公園
(H17年4月開園)



エコプラザ西東京
(H20年6月開設)



下野谷遺跡公園
(H19年4月開園)



小中学校の施設整備
●: 小学校
■: 中学校

さまざまな産業が育つまち

【商工業・農業の育成】

58 地域産業の育成

事業費計 (百万円)	合併 特例債	事業年度
118	0	
118	0	
118		13～

市民が参加する活力あるまち

【市民との協働及び支援】

59 非営利活動団体（NPO）等との協働及び支援

60 合併市町村振興基金の設置

【市民参加の推進と情報の公開】

61 地域情報化の推進

【女性の自立と社会参加】

62 男女平等の推進

63 男女平等推進センターの整備（女性センターの整備について検討）

【コミュニティの形成】

64 上向台地区会館の建設

65 東伏見コミュニティセンターの建設

事業費計 (百万円)	合併 特例債	事業年度
4,634	207	
59	0	
59		13～
3,903	0	
3,903		13～
165	88	
47		13～
118	88	14～
507	119	
151	119	13～
357		13～

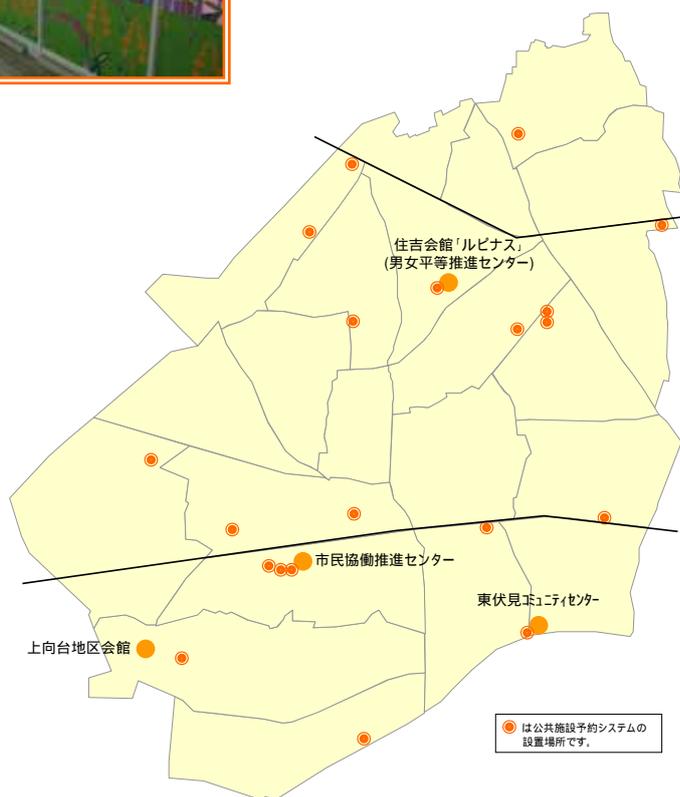


男女平等推進センター
「パリテ」(住吉会館内)
(H20年4月開設)

市民協働推進センター
「ゆめこらぼ」
(H21年3月開設)



東伏見コミュニティセンター
(H15年1月開設)



9 合併による市民意識の変化

合併後のまちづくりの推進にあたり市民ニーズ等を把握することを目的として、平成13年、平成19年及び平成22年に市民意識調査を実施しました。

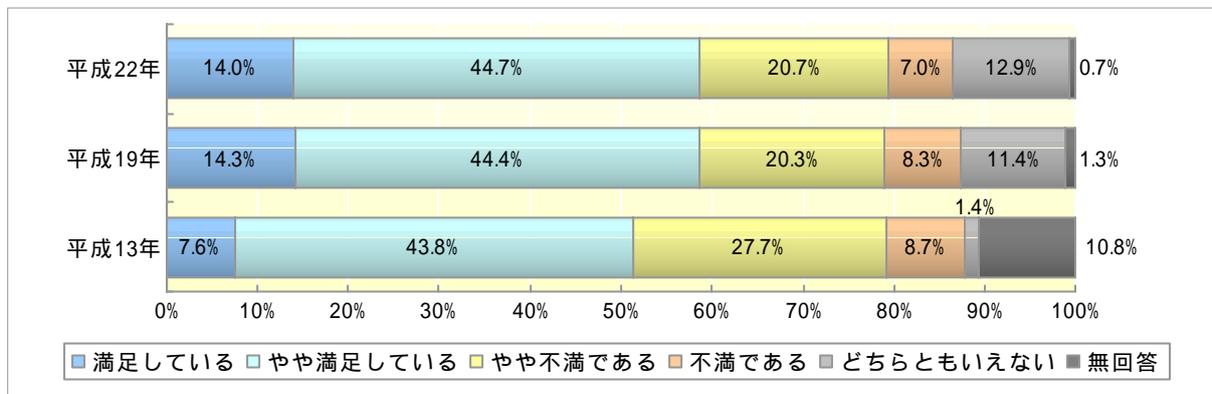
この市民意識調査から、西東京市に対する市民の意識の変化についてお示しします。なお、平成19年調査から設問等を変更している項目もあります。

西東京市の住み心地について

約6割の市民が住み心地に満足

住み心地に不満を抱いている市民は大きく減少

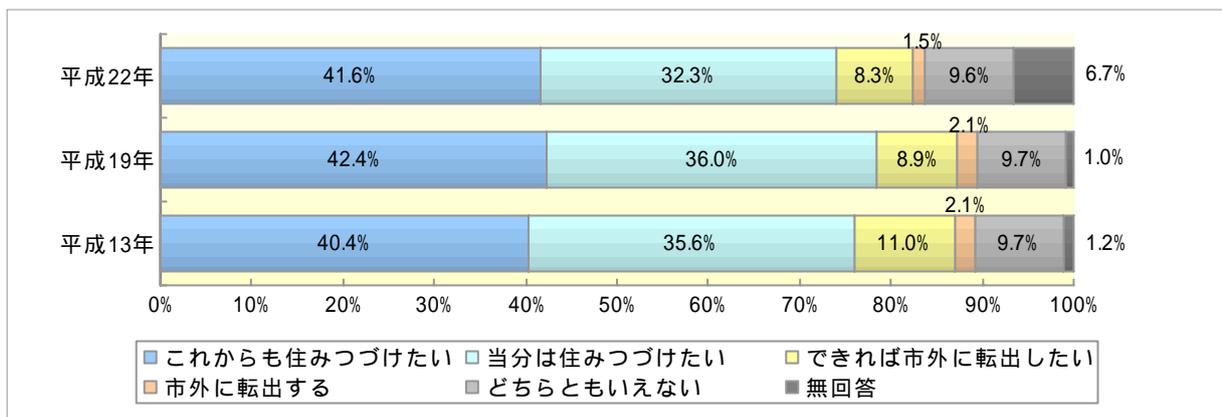
身近な生活環境の住み心地では、「やや満足している」が最も多く44.7%、続いて「やや不満である」が20.7%となっています。「満足している」と「やや満足している」を合わせると58.7%となっており、平成13年調査と比べ7.3ポイント多くなっています。



今後も西東京市に住み続けたいか

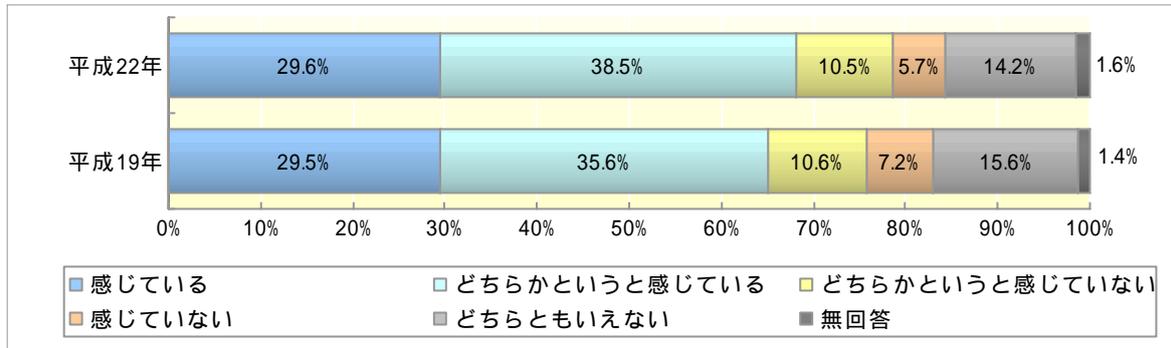
約75%の市民が西東京市に住み続けたいと感じている

西東京市での継続居住意向では、「これからも住み続けたい」が41.6%で最も多く、続いて「当分は住み続けたい」が32.3%で、この2つを合わせると73.9%となっており、平成13年調査と比べ2.1ポイント減少しています。一方で、「出来れば市外に転出したい」と「市外に転出する」を合わせると9.8%となっており、こちらも平成13年調査と比べ3.3ポイント減少しています。



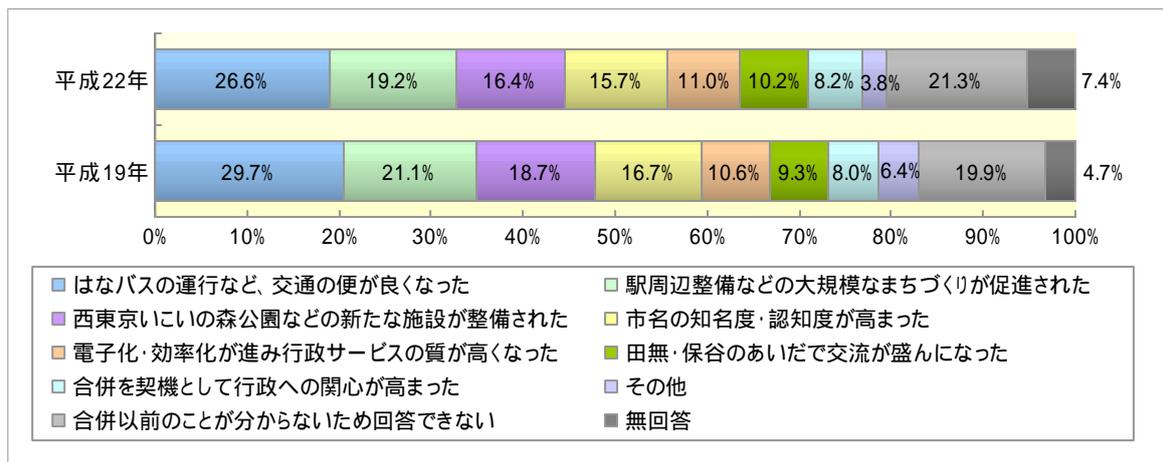
西東京市に対する愛着について

西東京市に愛着を感じているかについては、平成 22 年調査では「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせると 68.1%であり、平成 19 年より 3.0 ポイント多くなっています。



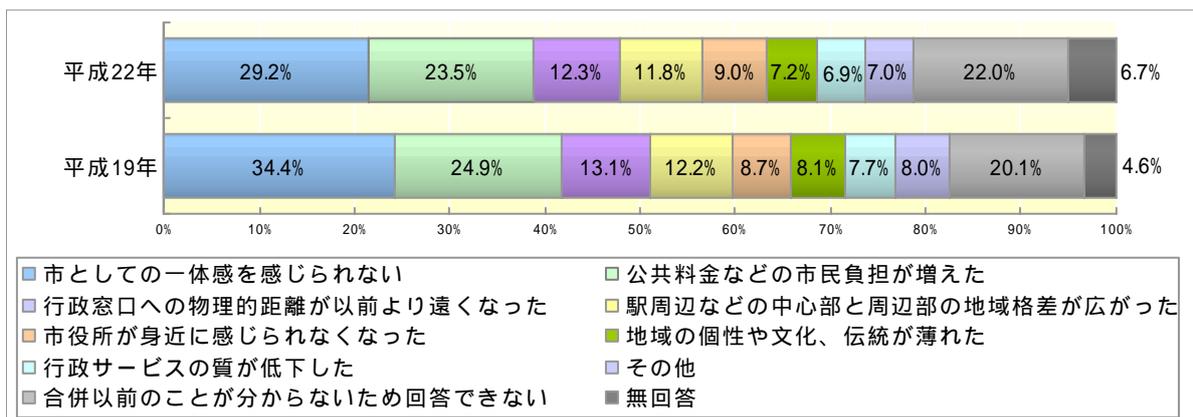
西東京市となって、良かったと感じること

合併によって良かったと感じることでは、平成 22 年調査では「はなバスの運行など、交通の便が良くなった」が 26.6%で最も多く、続いて「駅周辺整備などの大規模なまちづくりが促進された」が 19.2%となっています。



西東京市となって、もう一步と感じること

合併によって、もう一步と感じることでは、平成 22 年調査では「市としての一体感を感じられない」が 29.2%で最も多く、続いて「公共料金などの市民負担が増えた」が 23.5%となっています。



市民の市政に対する満足度・重要度

平成22年度の市民意識調査の結果によると、市民の市政に対する分野別の満足度では、「芸術文化」の分野への満足度が最も高く、次いで「行政運営」となっています。一方、最も満足度が低い分野としては「まちづくり」という結果となっています。

また、市政に対する分野別の今後の重要度では、「まちづくり」の分野が重要と感じている市民が最も高く、続いて「子ども環境」となっており、反対に市政に対する重要度が最も低い結果となったのは「市民参加」の分野となりました。

これらの市民の市政に対する意識調査の結果からは、「重点改善分野」には、「まちづくり」「子ども環境」が分類され、「重点維持分野」には、「行政運営」「保健福祉」「環境」が分類されます。

平成19年との比較では、満足度が最も上がっている分野は「まちづくり」となっており、重要度がもっとも上がっている分野は「産業」となっています。

	重要度下位	重要度上位
満足度上位	【維持分野】 社会・平等（ - ） 芸術・文化・スポーツ（ - ） 市民参加（ - ）	【重点維持分野】 環境（ - ） 行政運営（ - ） 保健福祉（ - ）
満足度下位	【改善分野】 産業（ - ）	【重点改善分野】 子ども環境（ - ） まちづくり（ - ）

表中の数字は満足度順位-重要度順位

CS（Customer Satisfaction = 顧客満足）分析

「満足度」と「重要度」の平均ポイントを用いて、分析を実施しています。CS分析では、全ての設問項目の平均ポイントから座標軸を設定し、各項目間の相対的な関係を次の4つの方向性で整理しています。

維持分野 現状においては、相対的な関係では満足度が高いものの、今後の重要度は低く評価されている分野で、現状維持で実施するか、取り組みの見直しなども考えられる分野です。	重点維持分野 現状においては、相対的な関係では満足度を感じている市民が多く、重要度も高く位置づけられている分野で、今後もこの水準を保つことが望ましく、現状維持で取り組む方向で検討したい分野です。
改善分野 現状においては、市民が評価できる段階に至っていなかったり、相対的にみて満足度も重要度も低く位置づけられている分野で、周知を徹底したり、実施方法や予算、内容等を見直し、改善等の検討が期待される分野です。	重点改善分野 現状においては、市民が評価できる段階に至っていなかったり、相対的にみて満足度は低いという評価であるが、今後の重要度は高く評価されている分野で、当該項目への着手や推進により、満足度が改善していくことが期待される分野です。

10年の検証とこれからのまちづくり

本市においては、「合併は究極の行財政改革」と位置づけ、行財政基盤の強化を図ることを目標の一つとして、この10年間で人件費の削減を中心に約158億円の経費削減を行なうとともに、合併に伴う財政支援措置として国都支出金、地方交付税及び合併特例債など約450億円の財政支援を活用し、新市のまちづくりを行なってきました。

この結果、再開発事業や都市計画道路、公園といった都市基盤の整備に加えて、学校施設や子育て施設、また福祉施設やコミュニティ施設といった様々な分野における施設等の整備も積極的に行なってきました。

また、環境基本条例や市民参加条例の制定や、地域防災計画や健康づくり推進プランの策定などの取組も行い、ハードとソフト両面から新市のまちづくりに取り組んできました。

持続可能で自立的な行財政運営の確立を目指して

合併後の10年間においては、財政支援措置等を最大限活用することで、新市のまちづくりにおいては大きな成果が得られましたが、一方で新市建設計画でも掲げていた公共施設の適正配置・有効活用等の課題は依然として残されており、今後はそれらの課題に対応することが重要であると考えています。

平成23年度以降においては、合併に伴う特例的な財政支援の縮減、地域主権時代への対応や市民サービスの維持・向上を実現するため、持続可能で自立的な行財政運営を確立する必要があります。

そのため、第3次行財政改革大綱に基づき、市の現状を見据えた自治体経営の適正化に向けた取組、歳出の抑制と歳入の確保の両面にわたる効率化に向けた取組、また、効果的なサービス提供の仕組みづくりに向けた取組をさらに推進していく必要があります。

《資料編》

合併による効果		
合併に伴う財政支援措置	資 1
合併による経費削減効果（一般会計）	資 2
合併特例債対象事業年度別借入額	資 3
新市建設計画事業決算額一覧	資 4
財政状況の推移		
財政規模の推移	資 8
歳入		
歳出		
歳入決算額の推移	資 9
歳入全体		
市税		
歳出決算額の推移	資 10
目的別構成比		
性質別構成比		
基金残高の推移	資 11

市の木・市の花

市の木、市の花は、西東京市誕生3周年を迎えるにあたり、緑と自然を行政と市民が一緒になって、守り、育て、潤いあるまちづくりを目指すためのシンボルとして、平成16年1月21日に指定しました。

指定にあたっては、選考委員会を設置し、2回の市民アンケートによる意見を参考にしながら、検討し決定したものです。

市の木

市の木には、市のシンボルとして武蔵野台地の象徴とも言える「けやき」と、これから自然を守り育てるイメージとして「はなみずき」を指定しています。

市の花

市の花には、「つつじ」「ひまわり」「コスモス」「すいせん」と四季折々の花を指定し、自然と緑のあるまちづくりを目指すシンボルとしています。四季それぞれの花を指定するのは、全国的にも極めて珍しいことです。



合併による効果

合併に伴う財政支援措置

(単位：百万円)

財政支援措置の区分	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	合 計
国庫支出金	10	170	340	0	0	0	0	0	0	0	0	0	520
合併準備補助金	10												10
合併市町村補助金		170	340										510
都支支出金	458	221	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	748
市町村合併支援特別交付金	458	221	69										748
地方交付税	740	2,547	2,353	2,203	1,859	1,821	1,652	1,626	1,647	1,677	1,804	1,804	19,928
合併算定替増加額計		1,811	1,831	1,787	1,657	1,620	1,652	1,626	1,647	1,677	1,804	1,804	17,112
普通交付税		1,704	1,604	1,357	1,333	1,375	1,420	1,415	1,450	1,371	1,041	1,041	14,070
臨時財政対策債		107	227	429	324	245	232	211	197	307	763	763	3,042
普通交付税合併補正算入額		201	201	202	202	201							1,007
特別交付税合併補正算入額	740	535	321	214									1,809
合併特別債	-	4,875	3,943	2,231	2,027	1,785	3,097	969	2,063	808	2,867	118	24,783
(参考)													
合併特別債償還金			79	130	198	616	971	1,199	1,368	1,821	1,983		8,366
うち普通交付税措置(×70%)			55	91	139	431	680	839	957	1,275	1,388		5,856
財政支援措置額 合 計	1,207	7,612	6,504	4,232	3,684	3,405	4,749	2,596	3,710	2,485	4,671	118	44,972

* 表内の数字は、表示単位未満で四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。以下同じ。
 * 平成22年度までは決算により作成しています。なお、合併特別債償還の平成23年度については、平成22年度補正予算(第2号)で繰越した借入予定額を計上しています。
 * 「合併算定替増加額計」欄は、普通交付税、臨時財政対策債発行可能額の合併算定替による増加額の合算額を計上しています。

合併による経費削減効果（一般会計）

（単位：百万円）

項目	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	合計
1 一般職人件費	384	741	993	1,260	1,601	1,887	1,968	2,188	2,275	2,449	15,746
前年度総職員数（人）	1,408	1,355	1,327	1,302	1,272	1,230	1,201	1,154	1,134	1,107	
当該年度総職員数（人）	1,355	1,327	1,302	1,272	1,230	1,201	1,154	1,134	1,107	1,100	
職員の削減数（人）	53	28	25	30	42	29	47	20	27	7	308
2 特別職人件費	58	72	189	213	276	248	262	265	269	350	2,086
市長等特別職	31	23	24	27	35	27	38	35	38	38	316
その他の特別職	28	95	213	240	311	276	300	301	307	389	2,404
3 市議会議員報酬等	18	45	100	98	120	123	146	111	127	137	1,025
市議会議員数（人）	46	43	36	36	35	33	30	30	30	30	28
4 事務経費	10	16	59	102	117	97	220	306	284	521	1,732
臨時職員賃金	14	24	2	15	30	33	28	33	51	49	199
電子計算管理費	6	36	60	72	72	72	72	94	116	101	701
民間業務委託	5	27	51	57	90	102	194	303	316	329	1,474
共通事務費	24	50	70	101	69	34	70	64	32	244	758
5 消防事務事業	298	269	273	286	284	294	288	289	287	279	2,847
合併による経費削減	748	968	1,117	1,329	1,612	1,959	1,919	2,015	2,135	1,994	15,796

*平成12年度一般会計決算を基準とし、各年度一般会計決算との比較により作成しています。
*消防事務事業については、各年度普通交付税の基準財政需要額を基準とし、合併算定替による影響額を算定しています。

合併特例債対象事業年度別借入額

(単位：百万円)

事業名	合併特例債年度別内訳													合計
	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	合計		
北原児童館の建替					124								124	
ひばりヶ丘児童センターの建替								20	129	398			547	
下保谷児童センターの建替								16	98	632			746	
みどり保育園の建替					173								173	
田無保育園の建替													159	
西原保育園等の建替								282					282	
すみよし保育園の建替													164	
住吉福祉会館建替等事業(住吉福祉会館建替、こども総合支援センター建設、男女平等推進センター建設)									181	452			741	
下保谷福祉会館の建替								8	53	288			349	
障害者総合支援センターの建設									215	305			521	
西東京いこいの森公園の整備	3,667	2,019	387	298									6,371	
公園広場の整備(生産緑地の保全)					428			871	106	574			2,031	
エコプラザ西東京の建設				962				260					1,318	
小学校校舎等大規模改造事業		145	106	154									405	
小学校耐震補強事業	54	67	37										157	
けやき小学校建設事業	105	849	1,621										2,575	
青嵐中学校校舎等建替				260	389				2,088	110			2,847	
中学校校舎等大規模改造事業	64	49			67								181	
中学校校舎等耐震補強事業				66	29								95	
保谷駅前公民館の整備								35	289				324	
保谷駅前図書館の整備								59	403				462	
ひばりヶ丘駅周辺まちづくりの推進								457					491	
ひばりヶ丘駅周辺まちづくりの推進(西3・4・21号線の整備)								32	183	492	38		744	
都市計画道路の整備(西3・4・15号線)	551	463	33	38	76			53	23	13	80		1,397	
市道の整備(市道2338号線)	186	127	47										359	
田無駅南口景観整備事業	72												72	
地域防災無線の増設工事	108												108	
防災行政無線の整備				146									146	
田無庁舎・敷地整備事業			174										174	
南町スポーツ文化交流センターの建替				103	499								602	
上向台地区会館の建設	68	51											119	
合計	4,875	3,943	2,231	2,027	1,785	3,097	969	2,063	808	2,867	118		24,783	

平成23年度は、平成22年度補正予算(第2号)で繰越した借入予定額を計上しています。

新市建設計画事業決算額一覧

施策体系		新市建設計画事業
将来像	施策	
01 地域の中で支えあう福祉のまち	01 福祉施策の充実	01 基幹型在宅介護支援センターの創設
		02 ファミリー・サポート・センターの創設
		03 病児保育室の設立
		04 芝久保児童館・学童クラブの建替
		05 しもほうや保育園、やぎさわ保育園の改修工事
		06 こども総合支援センター等の建設
		07 障害者総合支援センターの建設
		08 北原児童館の建替
		09 ひばりが丘児童センターの建替
		10 下保谷児童センターの建替
		11 みどり保育園の建替
		12 田無保育園の建替
		13 西原保育園の建替
		14 すみよし保育園の建替
		15 地域福祉拠点施設の整備
	02 健康の保持・増進	16 健康づくり推進プランの策定
		17 予防事業等の拡充
		18 住吉福祉会館の建替
		19 下保谷福祉会館の建替
	03 住環境の改善	20 高齢者・障害者向け住宅の確保
		21 認知症高齢者等グループホームの整備
		22 福祉のまちづくりの推進
02 環境にやさしく美しいまち	01 公共緑化の推進	23 公園広場の整備
		24 西東京いこいの森公園の整備
	02 民有地緑化の推進	25 グリーンバンクの設立
	03 環境対策の充実	26 環境基本計画の策定
	04 ごみの減量化・資源化	27 リサイクルプラザの建設
03 若者を育てるまち	01 学校教育の充実	28 小・中学校の施設整備
		29 青嵐中学校校舎建替
		30 けやき小学校建設事業
		31 通級学級の開設
		32 小学校給食の食器改善
		33 中学校給食の導入に向け検討
		34 教育相談機能の充実
		35 特色ある教育の実現
	02 社会教育・生涯学習の充実	36 郷土資料館の整備について検討
		37 青少年センターの整備について検討
		38 保谷駅前公民館の整備
		39 保谷駅前図書館の整備

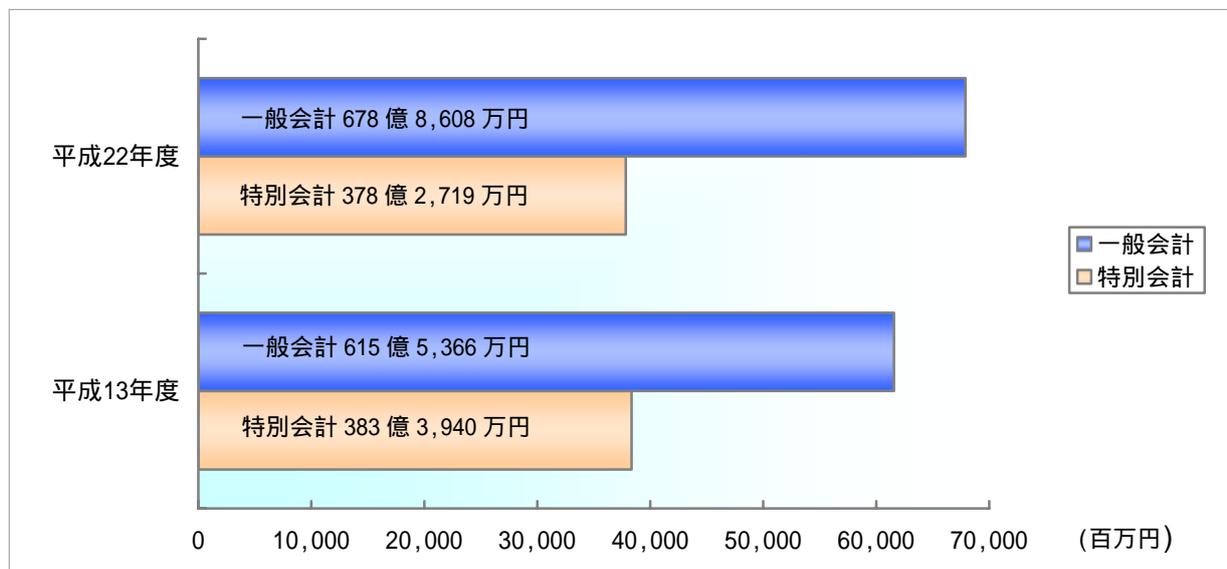
実績（各年度決算）										
13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	事業費計
0	869	1,400	741	673	1,673	335	249	296	365	6,601
5,696	5,772	7,354	9,259	9,387	8,866	8,776	8,778	8,779	8,861	81,528
4,579	6,106	9,243	15,103	17,979	18,022	17,999	17,813	17,936	23,620	148,400
91,921	13年度終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	91,921
86,862	13年度終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	86,862
			10,532	9,040	11,406	428,177	45,586	20年度終了	終了	504,741
			0	0	0	0	31,225	296,998	1,031,625	1,359,848
			5,072	162,197	17年度終了	終了	終了	終了	終了	167,269
			0	0	0	6,725	37,936	188,675	614,878	848,214
			0	0	0	4,861	113,893	125,962	808,987	1,053,703
			7,765	319,107	17年度終了	終了	終了	終了	終了	326,872
			0	7,875	287,015	18年度終了	終了	終了	終了	294,890
			0	0	0	10,059	425,186	20年度終了	終了	435,245
			0	0	0	0	12,514	9,362	464,482	486,358
			980	1,150	1,800	1,595	2,217	20年度終了	終了	7,742
432	12,219	15,013	15年度終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	27,664
0	6,735	16,408	32,289	34,060	25,694	29,489	29,640	44,126	39,104	257,545
			3,820	106,011	101,419	355,862	76,375	20年度終了	終了	643,487
			0	0	0	3,994	60,489	64,901	379,697	509,081
33	23	6	2	19	17	0	0	6,300	1,578	7,978
5,931	24,646	11,222	62,948	39,738	5,843	0	37,600	77,515	4,547	269,990
222,890	48,000	82	143	96,000	164	505	8,296	410	321	376,811
19,730	6,248	3,938	1,493	458,348	56,216	0	920,691	112,140	862,149	2,440,953
5,808,401	3,184,491	607,825	496,849	21,020	22,108	24,031	23,711	29,641	29,281	10,247,358
0	0	7	11	8	214	0	0	0	0	240
234	8,858	18,828	15年度終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	27,920
11,887	12,256	13,919	1,028,551	0	105,177	274,960	20,771	10,238	11,614	1,489,373
215,324	462,650	240,230	296,156	126,792	23,100	18,827	19年度終了	終了	終了	1,383,079
3,990	98	18,751	305,735	598,326	2,719,506	156,121	19年度終了	終了	終了	3,802,527
122,231	1,133,300	2,190,723	15年度終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	3,446,254
8,943	8,402	1,349	9,432	23,023	5,619	16,202	2,885	31,652	2,877	110,384
141,203	73,701	5,047	15年度終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	219,951
0	8,749	27,509	7,317	7,379	7,847	8,469	8,734	36,738	403,339	516,081
957	1,582	1,529	1,630	1,711	1,711	2,440	1,245	1,322	815	14,942
31,702	38,184	36,670	37,620	35,170	35,476	34,131	32,250	27,730	29,724	338,657
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	4,329	5,750	7,119	8,127	8,841	8,612	7,774	50,552
			0	0	2,402	37,384	429,316	20年度終了	終了	469,102
			0	0	3,342	68,004	587,733	20年度終了	終了	659,079

施策体系		新市建設計画事業
将来像	施策	
04 安全で快適なまち	01 道路の整備	40 都市計画道路の整備（西3・4・15号線）
		41 市道の整備
		42 市道整備基金の創設
	02 放置自転車対策	43 自転車駐車場設置事業
	03 公共交通の拡充	44 コミュニティバスの運行
		45 公共交通バスロケーションシステムの導入の検討
	04 駅周辺の整備	46 ひばりヶ丘駅周辺まちづくりの推進
		47 保谷駅南口地区市街地再開発事業
		48 田無駅南口地区景観整備事業
		49 ひばりヶ丘駅周辺のまちづくりの推進（西3・4・21号線の整備）
	05 庁舎整備	50 田無庁舎・敷地整備事業
		51 保谷庁舎・敷地整備事業
	06 防災対策の充実	52 地域防災計画等の策定
		53 防火貯水槽の設置
54 緊急物資の充実		
55 地域防災無線の増設工事		
07 スポーツ施設の整備	56 防災行政無線の整備	
	57 南町スポーツ・文化交流センターの建替	
05 さまざまな産業が育つまち	01 商工業・農業の育成	58 地域産業の育成
06 市民が参加する活力あるまち	01 市民との協働及び支援	59 非営利活動団体（NPO）等との協働及び支援
		60 合併市町村振興基金の設置
	02 市民参加の推進と情報の公開	61 地域情報化の推進
	03 女性の自立と社会参加	62 男女平等の推進
		63 男女平等推進センターの整備
04 コミュニティの形成	64 上向台地区会館の建設	
	65 東伏見コミュニティセンターの建設	

実績（各年度決算）										
13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	事業費計
851,662	849,024	152,927	151,244	243,232	187,671	229,105	69,762	31,833	62,952	2,829,412
384,479	240,576	71,978	15年度終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	697,033
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
54,504	154,163	145,980	151,816	127,517	138,386	97,129	104,433	106,601	103,338	1,183,867
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20,132	6,657	8,582	17,018	22,822	495,059	28,931	26,893	1,974	3,465	631,533
77,425	144,163	40,915	326,378	1,333,476	1,502,886	667,696	2,032,954	1,872,517	1,863,723	9,862,133
79,989	13年度終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	79,989
			0	7,630	24,269	14,869	83,999	481,540	1,087,334	1,699,641
5,975	201,075	100,425	100,545	0	0	0	8,894	0	0	416,914
104,468	17,150	0	0	0	0	0	119,510	317,874	44,185	603,187
0	23,602	14年度終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	終了	23,602
0	18,546	0	22,368	7,321	0	0	24,949	27,489	0	100,673
33,503	33,861	29,686	31,234	29,229	28,396	27,604	32,367	31,571	40,025	317,476
197,590	3,647	18,968	17,450	12,702	17,428	21,895	12,632	10,356	3,190	315,858
0	0	2,730	226,380	384	527	3,774	4,275	5,845	5,720	249,635
0	2,258	17,299	365,588	707,462	50,652	61,407	53,820	53,820	53,820	1,366,126
11,207	24,339	17,324	10,064	12,434	11,191	8,084	8,084	7,966	7,145	117,838
394	1,134	8,292	911	890	886	830	12,584	14,999	17,712	58,632
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
258,506	440,162	353,046	314,719	319,143	303,202	316,238	274,877	239,677	1,083,626	3,903,196
2,197	11,542	10,394	2,539	2,478	2,465	1,790	3,328	4,486	5,863	47,082
	14,076	10,020	9,256	9,077	8,758	17,923	18,481	14,699	15,235	117,525
71,851	72,406	833	814	454	500	821	959	960	1,159	150,757
34,000	239,710	13,513	13,570	12,519	8,415	8,479	8,501	8,937	8,952	356,596

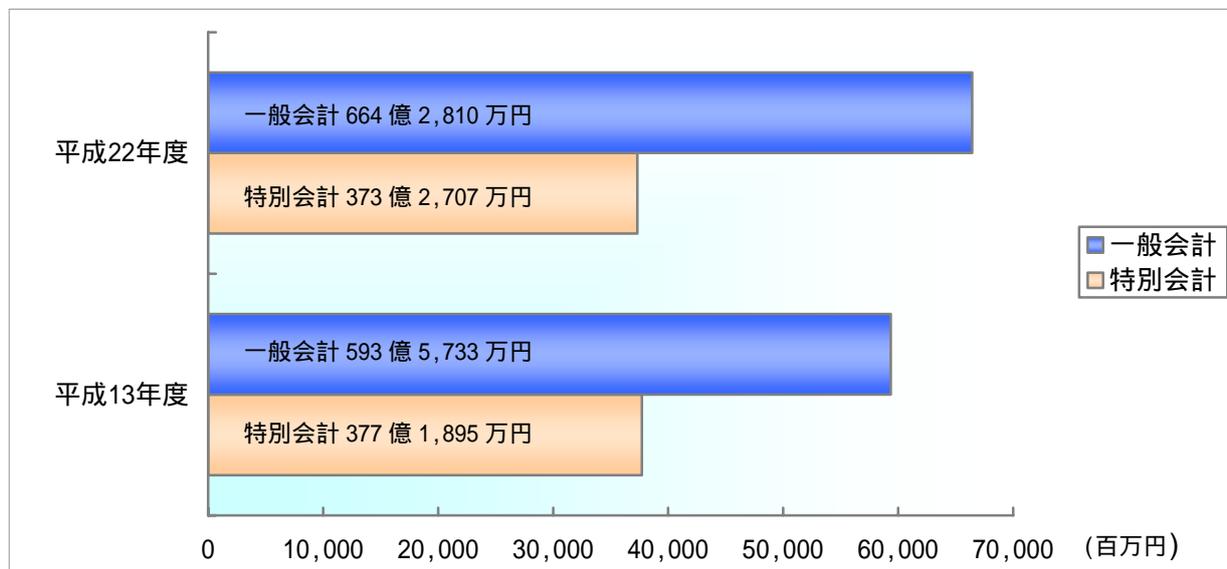
財政状況の推移

財政規模の推移（歳入）



	平成13年度決算額	平成22年度決算額	増減額	増加率(%)
一般会計	615億 5,366万円	678億 8,608万円	63億 3,242万円	10.3
特別会計	383億 3,940万円	378億 2,719万円	5億 1,221万円	1.3
合計	998億 9,306万円	1,057億 1,327万円	58億 2,022万円	5.8

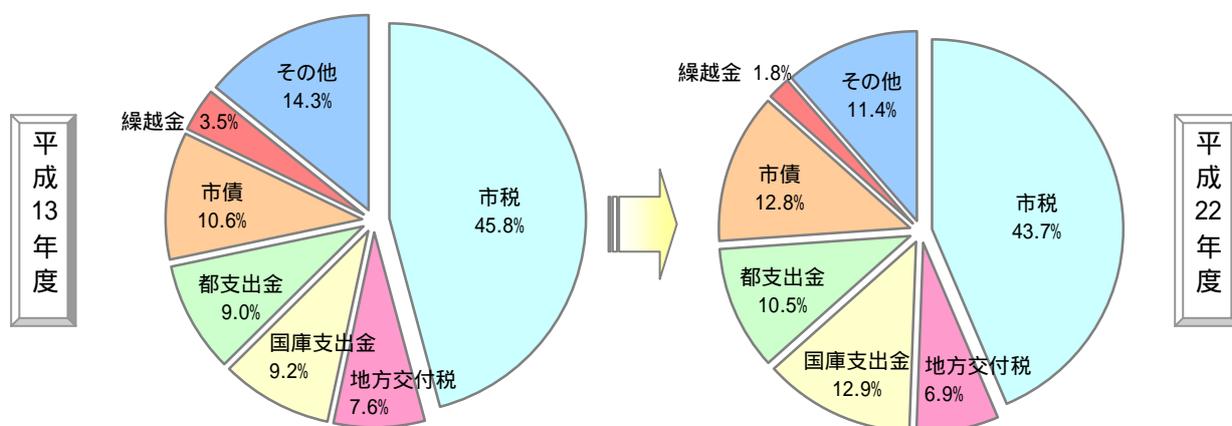
財政規模の推移（歳出）



	平成13年度決算額	平成22年度決算額	増減額	増加率(%)
一般会計	593億 5,733万円	664億 2,810万円	70億 7,078万円	11.9
特別会計	377億 1,895万円	373億 2,707万円	3億 9,189万円	1.0
合計	970億 7,628万円	1,037億 5,517万円	66億 7,889万円	6.9

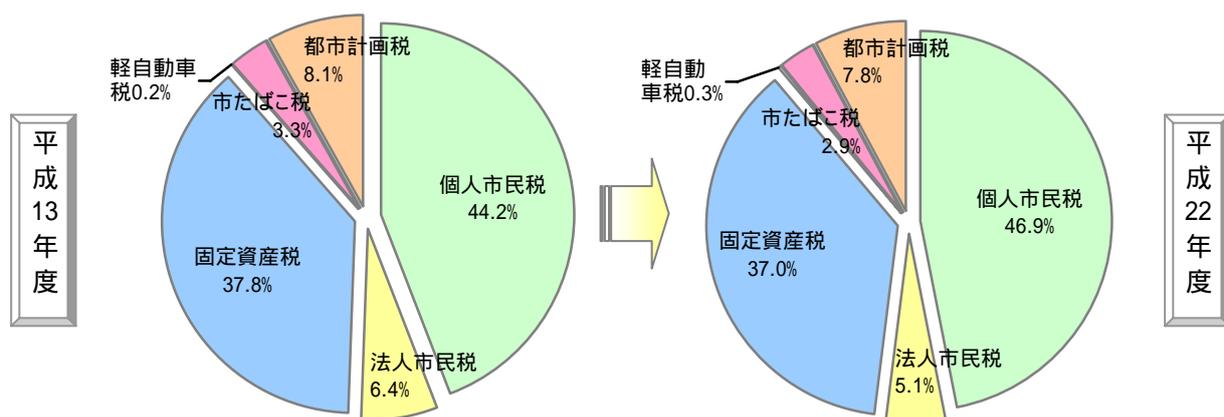
歳入決算額の推移

歳入全体



	平成13年度決算額		平成22年度決算額		増減額		増加率(%)
市 税	281 億	908 万円	297 億	2,535 万円	16 億	1,627 万円	5.8
地方交付税	46 億	9,170 万円	46 億	8,467 万円		703 万円	0.1
国庫支出金	56 億	2,239 万円	87 億	4,740 万円	31 億	2,501 万円	55.6
都 支 出 金	55 億	5,684 万円	71 億	5,982 万円	16 億	298 万円	28.8
市 債	65 億	4,250 万円	87 億	1,786 万円	21 億	7,536 万円	33.2
繰 越 金	21 億	7,137 万円	12 億	4,486 万円	9 億	2,651 万円	42.7
そ の 他	87 億	2,119 万円	77 億	6,454 万円	9 億	5,665 万円	11.0
合 計	614 億	1,506 万円	680 億	4,450 万円	66 億	2,944 万円	10.8

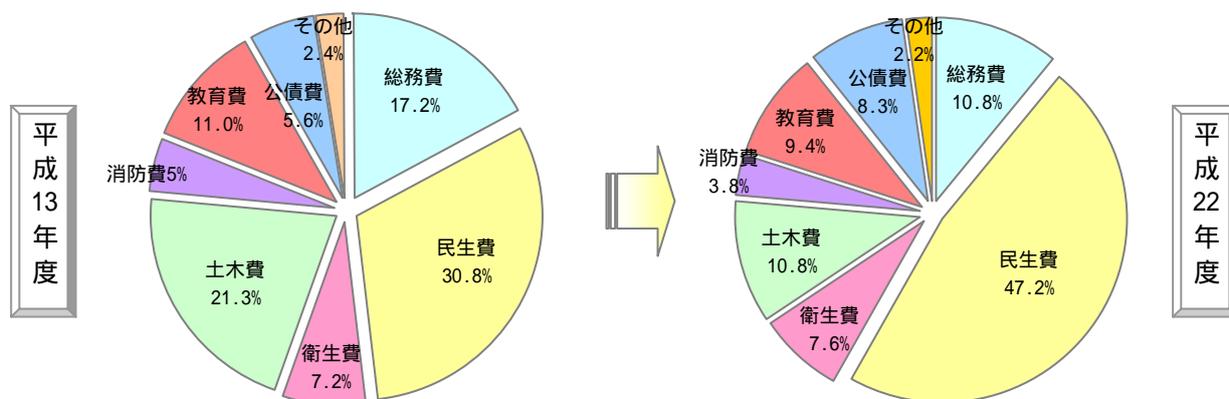
市税



	平成13年度決算額		平成22年度決算額		増減額		増加率(%)
個人市民税	124 億	3,630 万円	139 億	4,877 万円	15 億	1,247 万円	12.2
法人市民税	18 億	1,242 万円	15 億	499 万円	3 億	743 万円	17.0
固定資産税	106 億	2,141 万円	110 億	91 万円	3 億	7,951 万円	3.6
軽自動車税		5,802 万円		7,696 万円		1,894 万円	32.6
市たばこ税	9 億	1,440 万円	8 億	6,968 万円		4,472 万円	4.9
特別土地保有税		53 万円		53 万円		53 万円	100.0
都市計画税	22 億	6,600 万円	23 億	2,404 万円		5,804 万円	2.6
合 計	281 億	908 万円	297 億	2,535 万円	16 億	1,627 万円	5.8

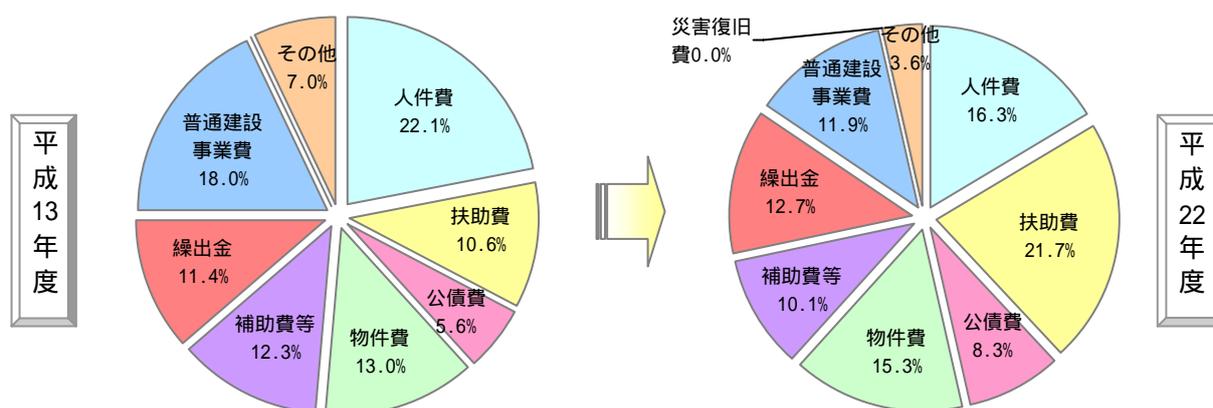
歳出決算額の推移

目的別構成比



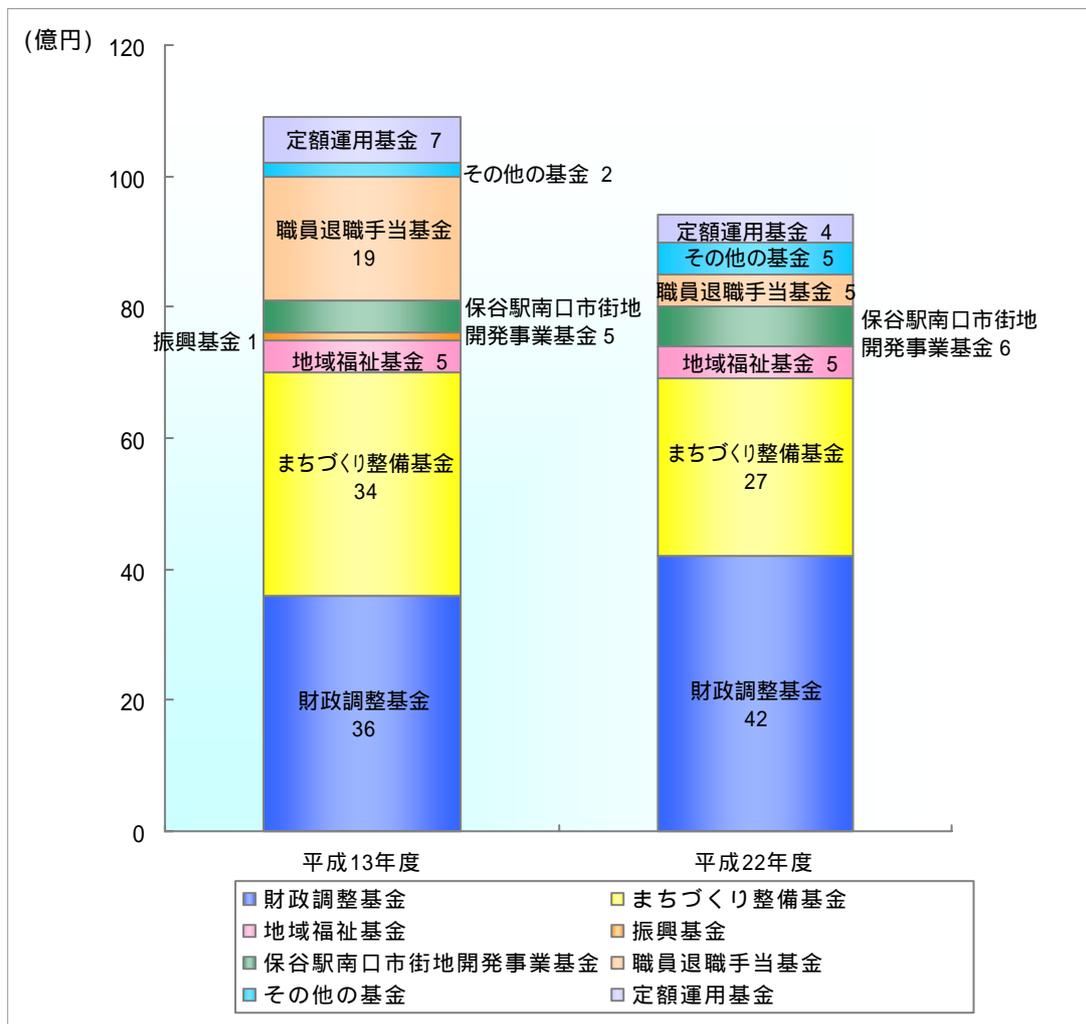
	平成13年度決算額		平成22年度決算額		増減額		増加率(%)
総務費	101億	7,510万円	71億	7,885万円	29億	9,625万円	29.4
民生費	182億	4,490万円	313億	8,355万円	131億	3,865万円	72.0
衛生費	42億	4,749万円	50億	5,175万円	8億	426万円	18.9
土木費	126億	968万円	71億	5,371万円	54億	5,597万円	43.3
消防費	26億	8,601万円	25億	273万円	1億	8,328万円	6.8
教育費	65億	1,419万円	62億	7,712万円	2億	3,706万円	3.6
公債費	33億	3,165万円	54億	9,633万円	21億	6,468万円	65.0
その他	14億	187万円	14億	8,977万円		8,790万円	6.3
合計	592億	1,088万円	665億	3,380万円	73億	2,292万円	12.4

性質別構成比



	平成13年度決算額		平成22年度決算額		増減額		増加率(%)
人件費	130億	6,519万円	108億	7,399万円	21億	9,120万円	16.8
扶助費	62億	6,097万円	144億	6,438万円	82億	341万円	131.0
公債費	33億	3,165万円	54億	9,633万円	21億	6,468万円	65.0
物件費	76億	9,250万円	101億	5,731万円	24億	6,481万円	32.0
補助費等	72億	9,096万円	67億	4,901万円	5億	4,196万円	7.4
繰出金	67億	4,640万円	84億	5,910万円	17億	1,270万円	25.4
普通建設事業費	106億	5,664万円	78億	9,176万円	27億	6,488万円	25.9
災害復旧費				1,578万円		1,578万円	-
その他	41億	6,657万円	24億	2,615万円	17億	4,042万円	41.8
合計	592億	1,088万円	665億	3,380万円	73億	2,292万円	12.4

基金残高の推移



	平成13年度決算額	平成22年度決算額	増減額	増加率(%)
財政調整基金	36億 2,741万円	41億 6,257万円	5億 3,517万円	14.8
まちづくり整備基金	33億 9,992万円	26億 7,264万円	7億 2,728万円	21.4
地域福祉基金	5億 3,050万円	4億 8,903万円	4,147万円	7.8
振興基金	1億 0万円	4,109万円	5,891万円	58.9
保谷駅南口市街地 開発事業基金	5億 1,180万円	5億 5,147万円	3,967万円	7.8
職員退職手当基金	19億 7万円	4億 8,791万円	14億 1,216万円	74.3
その他の基金	1億 9,458万円	4億 7,729万円	2億 8,271万円	145.3
定額運用基金	6億 5,831万円	4億 3,042万円	2億 2,790万円	34.6
合計	109億 2,258万円	93億 1,242万円	16億 1,017万円	14.7

西東京市合併10年のあゆみ

平成24年3月発行

編集・発行 西東京市企画部企画政策課

〒188-8666 西東京市南町五丁目6番13号

電話 042-460-9800(直通)

メールアドレス:kikaku@city.nishitokyo.lg.jp



西東京市